

<Q5 受容体とは何ですか。>

受容体とは、ウイルスがヒトや動物に感染する際に、最初に結合する細胞表面の分子のことです。インフルエンザウイルスの受容体は特定の構造をもつ糖鎖です。

この糖鎖は動物種により異なり、大きく分けて2種類（ヒト型とトリ型）があります。鳥のインフルエンザウイルスはトリ型の受容体によく結合し、ヒトのインフルエンザウイルスはヒト型の受容体によく結合します。このため、高病原性鳥インフルエンザウイルスは、トリ型の受容体をもつ鶏に効率よく感染して、急速に流行しますが、ヒト型の受容体をもつヒトへの感染はあまり起こりません。

これまでアジア等の流行地域でヒトへの感染例が報告されていますが、それはヒトの肺胞とよばれる肺の奥にトリ型の受容体が一部存在するためと考えられています。ただし通常、感染している鶏を、直接と殺・解体するなどの濃厚接触をしない限り、ウイルスは肺胞まで到達しません。このため、我が国では一般の人にそのような感染の危険性はほとんどないと考えられています。